

設計対象施設の概要

本事業で設計対象となる施設の概要を以下に示す。

1. アクティビティゾーン			
施設名		施設概要	規模
ダム管理棟敷地	●ビジターセンター	アクティビティエリアの受付機能を持った施設。受付の他にトイレ、ロッカー、休息、軽飲食機能も設定する(ダム管理棟との敷地境界からの給排水施設整備も含む)	建築面積 約 180m ²
	外構・駐車場	ビジターセンターに付随する展望広場、軽飲食・休憩スペース、駐車スペース。	約 1,200m ² (敷地スペース)
	●吊り橋アクティビティ施設	ダム管理棟(左岸)から上流側の尾根(左岸)へと渡る絶叫系の吊り橋。	全長 170m
	●ジップライン①	上流側の尾根からダム管理棟へと渡る、吊り橋と並走するジップライン。(着地点にはブレーキ機能付き)	全長 150m
	●園路・管理用道路	ジップライン①・③のゴール地点からビジターセンターへと移動する園路、及び施設管理用通路。(一部、管理車両通行可能な道路とする)	約 70m
	法面保護工	管理用道路敷設時に必要な法面保護を実施する。	約 430m ²
ダム管理棟上流尾根	●アスレチック施設	ダム管理棟の上流側の尾根(左岸)の2つの平場間を空中移動しながら楽しめるアスレチック施設。人工柱を設置する。	約 1,500m ² (敷地スペース)
	●ジップライン②	上流側の尾根から対岸(右岸)側の尾根へとダム湖の水面上を渡る大規模なジップライン。(着地点にはブレーキ機能付き。)	全長 370m
	ジップラインタワー	ジップライン②に必要な高低差を確保するためにスタート地点にタワーを設置する。	高さ約 18m
	●園路・管理用道路	吊り橋からジップライン②スタート地点へと移動する園路、及び施設管理用通路。(一部、管理車両通行可能な道路とする。)	約 100m
	法面保護工	管理用道路敷設時に必要な法面保護を実施する。	約 2,200m ²
対岸(右岸)尾根	●ジップライン③	対岸(右岸)側の尾根からダム管理棟(左岸)へとダム湖の水面上を渡る大規模なジップライン、2名同時に滑空できるダブルラインを想定している(着地点にはブレーキ機能付き。)	全長 440m
	ジップラインタワー	ジップライン③に必要な高低差を確保するためにスタート地点にタワーを設置する。	高さ約 24m
	●園路・管理用道路	ジップライン②からジップライン③スタート地点へと移動する園路、及び施設管理用通路。(管理車両が通行可能な道路とする。ダム湖周道路からダム施設までの進入路分岐箇所からジップライン施設までの区間を本事業の対象とする。)	約 140m
	法面保護工	管理用道路敷設時に必要な法面保護を実施する。	約 1,500m ²
	●広場	休憩、及び悪天候時の避難機能も兼ねた広場。	約 1,000 m ²

2. 森林体験ゾーン		
施設名	施設概要	規模
●森林体験園路	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設の裏山の森林内を散策できる園路。	約 580m
●管理用道路	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設裏山の森林内を通過する管理用道路。(管理車両が通行可能な道路とする。)	約 410m
●段々畑広場(多目的エリア①)	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設の西側に隣接した畑地で、水源地域振興拠点施設と一体的に活用できる多目的広場。	約 3,700 m ² (敷地スペース)
●広場(多目的エリア②)	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設の南側に隣接した畑地で、水源地域振興拠点施設と一体的に活用できる多目的広場。	約 3,700 m ² (敷地スペース)
●自然観察エリア	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設の西側に隣接した湿地エリア。	約 2,600m ² (敷地スペース)
●森林体験エリア	鹿沼市が整備計画中の水源地域振興拠点施設の南側に隣接した既存地形を活かした畑地。	約 18,000 m ² (敷地スペース)
整地・伐開	段々畑広場・広場(多目的エリア)、及び自然観察エリアの低灌木・草本類の伐採及び整地を実施する。	約 8,000 m ²

●吊り橋アクティビティ施設のイメージ



引用：秩父グラビティパーク HP

●アスレチック施設のイメージ



引用：さがみ湖プレジャーフォレスト HP

1 アクティビティゾーン（ダム湖周辺エリア）



2 森林体験ゾーン（ダム堤体下流エリア）

